



復興へ向けて

写真展能登

プロデューサー/ディレクター

立川 直樹

写真家

宮澤 正明

吉岡 栄一

松田 咲香

東京会場 2025.1.7 / Tue / — 2.2 / Sun /

平日/11:00-22:00 土日祝/11:00-19:00

会場/東京ミッドタウン八重洲 5階 (POTLUCK YAESU) 東京都中央区八重洲二丁目2番1号

アクセス/JR 東京駅から地下直結(八重洲地下街経由)、東京メトロ 丸の内線 東京駅から地下直結(八重洲地下街経由)

金沢会場 2025.2.7 / Fri / — 2.24 / Mon / Holiday /

平日・土日祝/9:00-21:00

会場/石川県政記念 しいのき迎賓館 石川県金沢市広坂2丁目1番1号

アクセス/JR 金沢駅バスターミナルよりバスにて「香林坊(アトリオ前)」下車、徒歩5分

大阪会場 2025.3.5 / Wed / — 3.23 / Sun /

平日/10:00-20:00 土日祝/10:00-21:00

会場/三井ショッピングパーク ららぽーとEXPOCITY 大阪府吹田市千里万博公園2-1

アクセス/大阪モノレール「万博記念公園駅」より徒歩2分

※いずれも入場無料。 ※各会場ごとに展示写真枚数は異なります。 ※施設の営業時間に準じ、変更になる場合がございます。

主催 / 「写真展能登 復興へ向けて」事務局 Mail [noto.photoex@daiwa-printing.co.jp](mailto:noto.photoex@daiwa-printing.co.jp)

特別協力: 三井不動産株式会社

# NOTO

写真展

本展では、被災地の復興だけでなく、震災や豪雨の前から大切に守られてきた祭りや伝統文化、そして地域の生業がどのように再生を目指しているかを、能登や石川県とゆかりのあるプロデューサーや写真家の視点で展示を構成しています。展示を通じて、能登の力強さや美しさを改めて感じ、復興を進める力になればと思っています。



1949年生まれ。70年代の始まりから、メディアの交流をテーマに音楽、映画、芸術、舞台など幅広いジャンルで活躍するプロデューサー／ディレクター。分野は、ロック、ジャズ、クラシック、映画音楽、アート、舞台美術、都市開発と多岐に渡る。音楽評論家・エッセイストとしても独自の視点で人気を集める。石川県では、北陸新幹線金沢開業1周年記念イベントとして“ロック・スーパー・セッション”と“ギター・サミット”をプロデュースしたのをはじめ、鋤田正義写真展や泉鏡花をテーマにした“鏡花 -KYOKA- 音・語り”など、数々の展覧会やイベントを手掛け、2024年3月にはDiscover Japan特別号“石川”も執筆・プロデュースした。

プロデューサー  
ディレクター  
立川直樹  
Naoki Tachibana

復興へ向けて

# 能登

## 作家紹介

写真家

### 宮澤 正明

Masaaki Miyazawa

日本大学芸術学部写真学科卒業。卒業時に日本大学芸術学会奨励賞、85年には赤外線フィルムを使用した処女作「夢十夜」でニューヨークICPインフィニティアワード新人賞など数々の賞を受賞。石川県の豊かな景観や伝統に魅了され、これまでさまざまな場所で撮影を重ねてきた。中でも、能登半島の自然美、豊かな食文化、そして温かく魅力的な人々の姿をカメラに収め、その魅力を余すところなく映し出している。



上/白米千枚田  
左/あえのこと

写真家

### 吉岡 栄一

Eiichi Yoshioka

1986年生まれ。能登半島の風景に惹かれ、写真を撮り始める。27歳でフリーランスに転身し、石川県輪島市へ移住。ライフワークとして金沢や能登のお祭りを中心に撮影するほか、国内外でスナップ・アート写真を撮影している。パリやロンドンなどの国際的な写真コンペティションで上位入賞。2022年にスペイン・テルエルで開催されたフォトフェスティバルに招待され、唯一の日本人フォトグラファーとして参加し、能登の祭りの写真を展示。国内外で活躍の場を増やしている。



上/あばれ祭り  
左/あえのこと

写真家

### 松田 咲香

Sakika Matsuda

1986年生まれ、石川県珠洲市出身・在住。2014年に東京から地元珠洲市へUターンし、国内外をはじめ、能登の祭りや営み、風景の写真を撮影している。また、ローカル情報誌の季刊誌「能登」でもカメラマンとして活動。令和6年能登半島地震で被災し、HDDが津波で浸水。データ復旧会社の支援により、データの約6割が復旧され、その写真を使った展示を行っている。現在は、珠洲市にて交流拠点「本町ステーション」を運営中。今後は、「森のスタジオ」構想を計画している。



上/鶴島のきやあらげ  
左/蛸

会場デザイン: 建築家 岸 健太 (秋田公立美術大学大学院)

主催 / 「写真展能登 復興へ向けて」事務局

Mail noto.photoex@daiwa-printing.co.jp